

## NEWS RELEASE

### IT協会が平成18年度IT賞受賞自治体・企業を決定

#### 【IT総合賞】市川市役所

【IT特別賞（フロンティア賞）】株式会社セールスフォース・ドットコム

【IT特別賞（奨励賞）】HOYA サービス株式会社

- 平成19年2月22日に記念講演と表彰式 -

社団法人企業情報化協会（会長：南 直哉 東京電力株式会社 顧問）は、IT賞表彰受賞自治体および企業を発表した。

社団法人企業情報化協会では、昭和58年3月に設定した情報化優秀企業・自治体・機関・事業所等表彰制度に則り、わが国の産業界ならびに行政機関における生産性向上と効果的マネジメント・システムの整備を目的として“ITを活用した経営革新”に顕著な努力を払い優れた成果を挙げたと認めうる企業・自治体・機関・事業所・部門あるいは個人に対して授与している。

平成18年度IT賞審査委員会（委員長：斉藤 信男 慶應義塾大学 名誉教授）においては、審査委員会の厳正な審議のもと1自治体・2社の受賞を決定した。（受賞理由は別紙の通り）

なお、来る平成19年2月22日（木）に開催される「第22回IT戦略総合大会（ITMC 2007）」（東京・港区「虎ノ門パストラル」）の第1日目のオープニングセッションにて、表彰式ならびに記念講演を行う。詳細はIT協会ホームページ（URL/http://www.jiit.or.jp）参照。

#### 【平成18年度IT賞受賞について】

名称：平成18年度IT賞

主催：社団法人企業情報化協会（通称：IT協会）

審査委員長：斎藤 信男（慶應義塾大学・名誉教授）

受賞自治体・企業：

【IT総合賞】市川市役所

【IT特別賞（フロンティア賞）】株式会社セールスフォース・ドットコム

【IT特別賞（奨励賞）】HOYA サービス株式会社

受賞記念講演・表彰式典：2007年2月22日（木）

会場：虎ノ門パストラル（東京都港区虎ノ門4-1-1）

#### 【企業情報化協会について】

名称：社団法人企業情報化協会（通称：IT協会）

英文名：Japan Institute of Information Technology（略称：J I I T）

会長：南 直哉（東京電力株式会社 顧問）

設立：1981年7月16日

所管官庁：経済産業省

会員数：160社

所在地：〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル

電話：03-3434-6677 URL：www.jiit.or.jp

本件へのお問い合わせ先

社団法人企業情報化協会 経営戦略本部 ITマネジメント推進センター 朝本 倫太郎

TEL 03-3434-6677 FAX 03-3459-1704 E-Mail : asamoto@jiit.or.jp

## IT賞受賞概要

### IT総合賞

#### 自治体：市川市役所

市川市役所ではデジタル化そのものを目的とするのではなく、行政の効率化と市民の行政に対する満足度の向上ならびに新規サービスの創出のための手段として利用し、また行政におけるマネジメントの仕組みを有効化するために活用している。

まず創意をこらした独自のサービス事業の開発において先駆的な取組がなされている。インターネットを利用した市民モニター制度や、ITによって実現したNPOに対する市民税1%支援制度などはユニークな施策であり、海外も含めたベンチマーキング調査に基づき開発された。今後はこれらをエコロジー運動やボランティア活動に対するインセンティブ制度と融合した独創的な地域ポイント制度へ発展させ、市民との協働型の行政サービスの仕組みを確立しようとしている。一方、市役所内の情報システムの見直しにおいても、アクティビティ・ベスト・コストイング(ABC)やバランスド・スコアカード(BSC)といった手法を取り入れ、投資効果の最適化を図っている。さらに次期システムの方針として、マルチベンダー化やオープン化の推進、サービス指向アーキテクチャの採用を計画するなど、民間企業の基準で見ても先進的かつ意欲的な取り組みをじっせんしつつある。これらの取組みが「IT総合賞」にあたりと判断した。

### IT特別賞(フロンティア賞)

#### 企業：株式会社セールスフォース・ドットコム

セールスフォース・ドットコムは最も成功したSaaS(Software as a Service)の先駆者のひとつである。米国本社で開発した全世界同一バージョンのCRMアプリケーションをオンデマンドで提供している。常に最善の機能を実現するために、顧客の要望に基づいた頻繁なバージョンアップを重ね、サービス開始以来7年間で21回のバージョンアップを行っている。

日本法人では5年前にサービスを開始した。日本の市場はパッケージプログラムの普及度合いが米国よりも低いこと、ユーザー企業の情報システム部門がエンドユーザーの独自のシステム導入を嫌う傾向が強いこと、また営業部門が専門職制ではなくマネジメントシステムが普及していないことなどがあり、米国より難しい特性であったと考えられる。しかしながら、日本市場への導入においても成功を収めつつある。これらの取組みが今回「ITフロンティア賞」にあたりと判断した。

### IT特別賞(奨励賞)

#### 企業：HOYAサービス株式会社

HOYAグループは世界15言語28ヶ国にグローバル展開を行っている。同社は1996年頃からSAP R/3を導入しグループ内での基幹業務処理の基盤確立を図ってきた。しかしそれにつれて地域別言語別のサーバーが増加し、コスト増が顕在化するという問題が生じた。これを解消するため、今回、サーバー統合とシステム基盤の最適化を実施した。

ここには二つの大きな技術的なテーマがある。一つは多言語対応によるサーバー統合であり、もう一つは仮想化技術による資源の最適化である。これらの取組みによって、システム保有コストの低減がなされ、システムの自動運用も実現した。加えて、HOYAグループとして今後の事業の多様化や事業買収等の戦略遂行に対して、柔軟かつ速やかなシステム上の対応を可能にした。また新しい技術に積極的に挑戦したことで情報システム会社としてのHOYAサービス社の事業能力の向上および要員の上流領域へのシフトが望めるようになっている。これらの取組みが今回は「IT奨励賞」にあたりと判断した。